

言語聴覚士による健康測定

学科・専攻
関西福祉科学大学
リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻
担当教員
言語聴覚学専攻教員
辰巳郁子

連携先
市民総合フェスティバル実行委員会
(柏原市商工会)
柏原市

プログラム内容

柏原市民総合フェスティバルの玉手山学園のブースに出店。「言語聴覚士による健康測定」と題し、来場者向けに認知機能(脳)、発声発語(声)、嚥下(飲み込み)などコミュニケーションに関する簡単な検査を実施します。目的は、①健康チェックや健康への意識向上に役立てていただくこと、②本活動を通じた学生の成長を目的としています(医学的な診断は行いません)。教員同席のもと、授業や演習で学修した手技や知識を実際に施行し、小児から高齢者まで幅広い年齢の方々とのかわりも体験的に学ぶ機会と考えています。

成果・考察

柏原市民総合フェスティバルにST専攻1、2年生でブース出展させていただきました。今年も150名以上を優に超える大盛況で、お子さまからご高齢の方まで参加下さいました。今回初めて地域活動に参加する学生もいましたが、物怖じせずにお客さまへお声を掛けて呼び込みをしたり、お子さまが楽しみつづ検査に取り組めるように対応したりと積極的に活動しました。実習終えたばかりの3年生も後輩へ差入れを持ってお手伝いに来てくれるなど、先輩後輩の交流も深まったようです。

小児から成人まで幅広く



5つの検査を実施



関西福祉科学大学
リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻
辰巳 郁子 助教

言語聴覚士は馴染みの少ない職種ですが、歳を重ねると気になる「飲みこみ」「聞こえ」「話す」「記憶、集中、計画、抑制などの高次脳機能」について検査や訓練を担当しています。

今回の活動を通して、言語聴覚士という職種を知っていただくとともに飲み込みや聞こえなどのフレイル予防、エルスプロモーション的な役割も果たせたと感じています。

地域の方々から日頃のお困り事を伺いつつ楽しくお話する機会となり、今後の臨床実習にも生かしていきたいと考えています。



リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻
2年 長田さん

柏原市民総合フェスティバルに参加し、普段はあまりお話しすることができない地域の方々と直接お話しすることができ、とても楽しい時間を過ごせました。

私は積み木を使って脳の働きを調べる検査を担当していました。高齢の方から小さなお子さんまで、幅広い世代の方が参加してくださり、初めのうちはうまく説明できなかったり、対応に少し苦戦したりすることもありましたが、皆さんが真剣に検査に取り組んでくださる姿を見て、すごく嬉しい気持ちになりました。

検査を通して沢山の方と関わることができ、とても貴重な経験になりました。